

小中一貫教育だより

つなぐ

No. 6
令和3年度
7月



～つながる学び ひろがる未来 夢を育む小中一貫教育～

笠岡市教育委員会 一貫教育推進室

本年度から小中一貫教育の試行が始まりました。それぞれの中学校区で、小中一貫教育のグラウンドデザインを作成し、義務教育9年間で目指す子供像に向けて、小学校・中学校が一体となって教育活動を行っています。鳥しょ部や小北中学校区においても、「小中一貫教育カリキュラム」の活用により、小学校と中学校のつながりを意識した授業を行い、確かな学力の育成を目指しています。

しかし、学校だけでは子供は育ちません。学校・保護者・地域が一体となって教育を進めていくことが大切であると考えています。多くの地域住民や保護者の皆様に子供たちの成長に関わっていただきたいと思います。子供たちが「信頼できる大人と関わる機会」をたくさん作り、子供たちに自己有用感や主体性・多様性・協働性を身につける機会をたくさん設けたいと考えています。そして、学校も地域も元気になる「地域とともにある学校」を目指します。

小中一貫教育は、令和3年度・4年度の試行により、取組の検証・改善を行いながら令和5年度に完全実施となります。今年度も、小中一貫教育だより「**つなぐ**」で、さまざまな教育活動や「地域とともにある学校」の姿を紹介していきたいと思います。

義務教育9年間を見通した指導カリキュラムの完成

令和3年3月に9教科（国語、社会、算数・数学、理科、外国語、音楽、図画工作・美術、保健体育、家庭）の小中一貫教育カリキュラムが完成しました。これは、各教科の学習内容、指導方法、評価を含めた義務教育9年間で貫く系統的な指導計画です。「今日の授業までに何を学んできたか」「今日の授業は中学校のどの授業につながっていくのか」についてや、子供たちにつけたい力と、そのための重点指導事項等も示されています。先生方が、このカリキュラムを活用して、小学校と中学校の学習のつながりを意識した授業実践を行っていくことがねらいです。

～笠岡市内の全教職員を対象にカリキュラム説明会の開催（4/30）～

子供たちの「**分かった**」「**できた**」を増やすために、**先生たちはがんばっています！**



カリキュラム編成委員の先生方が講師となって説明しています。



乗り入れ授業も始まっています!

「乗り入れ授業」って何?

～乗り入れ授業を受けている子供たちの声～

- ・中学校の先生が詳しく教えてくれる。
- ・中学校へ入学したとき、知っている先生がいると安心。
- ・できたり、分かったりすることが増えて、楽しみになった。
- ・中学校ではどんなことをするのか、楽しみでやる気がわく。

中学校の先生が専門性を生かした授業を小学校ですることです。特に、接続期の小学校5・6年生で行います。中学校の教科担任制への段階的移行をねらいとしています。

また、小学校の子供たちは、中学校の先生を知ること、中学校進学への不安も少なくなります。



地域とともにある学校づくりを目指して

市内の中学校区あるいは小学校・中学校で学校運営協議会や学校評議員会が開催されています。中学校区全体で、あるいは、それぞれの学校で「こんな子供に育てましょう」と、学校・保護者・地域の代表の皆さんで「育てたい子供像」を共有し、その実現に向かって話し合いが行われています。今回は、神島外中学校区と笠岡西中学校区の学校運営協議会の様子についてお知らせします。

神島外中学校ブロック学校運営協議会

(神島外中学校、神島外小学校、六島小学校)

6月18日(金)に、神島外中学校で開催されました。神島外中学校ブロックでは、「仲間と支え合い、認め合うことができる心豊かな児童・生徒」の育成に重点を置いていくことが共有されました。委員さんから、「それに対して協議会でこれからどう取り組むかを考えていきたい。」というご意見が出ました。

笠岡西中学校ブロック学校運営協議会

(笠岡西中学校、笠岡小学校、今井小学校、大井小学校)

6月29日(火)に、笠岡西中学校で開催されました。委員さんから「西中ブロックの子供たちへの教育が同じ方向で向かっていくということが分かりました。」という意見が出ました。そして、学校が示した学校運営の基本方針で、一緒にやっていくということが承認されました。

